

暴風と大雨及び積雪に関する農作物等の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

平成24年4月3日6時6分、「暴風と高波及び大雨に関する福島県気象情報第3号（福島地方気象台）」が発表されました。

（見出し）

福島県では、4日にかけて大荒れの天気となるでしょう。特に、海上を中心に、非常に強い風が吹き、大しけとなる見込みです。また、3日夕方から夜のはじめ頃は大雨となるでしょう。暴風や高波、低い土地の浸水や河川の増水・はん濫に警戒してください。

（本文）

【気象状況】

3日は、低気圧が日本海で急速に発達し、寒冷前線が北日本を通過するでしょう。4日は、低気圧が北日本を通過し、強い冬型の気圧配置となる見込みです。

【風・波】

<地域・時期・量的予想>

福島県では、3日は南よりの風が非常に強まり、4日は西よりの風が非常に強い見込みです。このため、海上は大しけとなるでしょう。

4日にかけて予想される最大風速は、

浜通り 海上 28メートル 陸上 18メートル

中通り 15メートル

会津 12メートル

4日にかけて予想される波の高さは、太平洋側 8メートル

なお、4日は強い冬型の気圧配置となるため、会津を中心に風雪となる見込みです。

<防災事項>

暴風や高波に警戒してください。

【雨・雷】

<地域・時期・量的予想>

福島県は、3日昼過ぎから雨が降り出し、夕方から夜のはじめ頃にかけては雷を伴って1時間に30ミリの激しい雨の降る所があり、大雨となるでしょう。

また、積雪の多い地域では雪解けが進む見込みです。

4日6時までで予想される24時間雨量は、多い所で

会津100ミリ、中通りと浜通り70ミリ

なお、4日は、会津の山沿いを中心に大雪となるでしょう。

<防災事項>

低い土地の浸水、河川の増水・はん濫に警戒し、融雪による土砂災害、落雷や突風に注意してください。積雪の多い傾斜地では、なだれにも注意が必要です。

今後、気象台の発表する警報や注意報、気象情報に留意してください。

1 水 田

(1) 事前対策

- ア 増水に備え、用排水路を点検しゴミ等を取り除いておきましょう。
- イ 大雨により水路が増水している場合は、危険ですので近づかないで下さい。

(2) 事後対策

早急に排水を図り、乾田化するよう努めましょう。

2 麦 類

(1) 事前対策

滞水しやすいほ場では、必要に応じて畦畔の切削等を実施し排水に備えましょう。

(2) 事後対策

地表面に滞水が見られる場合は、溝切りなどの排水対策を行いましょう。

3 野菜・花き

(1) 事前対策

- ア ほ場周囲の排水溝を点検し、速やかに排水できるようにしておきます。
- イ ほ場周囲に防風ネットを設置している場合は、ワイヤー・針金の緩みやネットの破損を点検し補修します。
- ウ パイプハウスの被覆資材及び止め具（マイカ線、ビニペット等）を点検し、ビニールの破損があれば補修します。
- エ ハウスでは、天窗や扉があおられたり風が吹き込まないように完全に閉めておきます。
- オ 積雪があった場合、ハウスの倒壊を防ぐため必要に応じて雪下ろしを行います。特に、古い被覆資材は滑りが悪いので、優先的に除雪を行います。なお、ハウスの雪害対策としては、次の資料を参考に願います。

※ 参考資料「パイプハウスの雪害防止対策（暫定版）平成23年3月」

県農業振興課のホームページに掲載していますので、以下のURLよりご覧ください。
http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyuukaihatu/gi_jyutsufukuyuu/04toku_joho/setugai_taisaku_h230311.pdf

(2) 事後対策

- ア 停滞水は、明きょなどで速やかな排水に努めます。
- イ 低気圧通過後は、ハウスや被覆資材各部の損傷、ゆるみ、たるみ等を点検し、必要に応じて補修を行います。なお、ハウス内に野菜等を作付中で、ビニールの修復が遅れる場合は、ハウス内の野菜等を低温や寒風から守るため、応急的にべたがけ資材等を被覆して保温に努めます。

4 果 樹

(1) 事前対策

- ア リンゴのわい性台樹は倒伏しやすいので、支柱への結束状態を確認し、不十分な場合は補強しておきます。また、木支柱の場合は、支柱の根元が腐敗していないかどうか確認します。
- イ 果樹棚等の施設は、前もって点検し、強風の前にアンカー補強や棚線の締め直し等を行います。また、棚周囲に防風ネットを設置している場合は、風で飛ばされないように補強しましょう。
- ウ 樹体や果樹棚への着雪が多い場合は、速やかに雪下ろしを行いましょう。また、主枝、亜主枝などには支柱を添え、折損などの未然防止に万全を期してください。

(2) 事後対策

ア 倒伏した樹はできるだけ早く起こし、土を盛り、支柱等で固定します。

イ 大枝が裂けた場合は、ボルトやカスガイ等で止めるか、縄などでしばり傷口を接着させます。

また、大枝が折損した場合は、折れた部分からやや基部の健全な部分まで切り戻します。

さらに、傷口から病害などが侵入しないように、傷口の保護に努めます。

ウ 果樹棚のワイヤー等が破損した場合は、速やかに修復や補強を実施しましょう。

エ 滞水している園地では、明きょなどにより速やかな排水に努めましょう。

5 畜産・飼料作物

(1) 事前対策

ア 強風による畜舎、飼料庫、飼料タンク、堆肥舎等の損壊、及び風雨や風雪の吹き込みを未然に防止するため、屋根、扉、窓及び外壁等の破損や亀裂等の有無を確認し、必ず補修等の応急措置を行いましょ。

イ 特に、開放された飼料の保管場所では、乾草や稲わら等をシートで覆うなどして、風雨や風雪がかからないようにしてください。

堆肥舎への風雨等の吹き込みも併せて防止してください。

ウ あらかじめ停電や断水等の対応を確認し、被災時には自家発電機等による搾乳等ができるよう対策を行いましょ。

エ 低温時には、水道管やサイレージの凍結が心配されるため、凍結防止対策を適切に行ってください。

また、バークリーナーや搾乳機器などの凍結によるトラブルも心配されるので、入念に点検してください。

オ 水はけの悪い草地や飼料畑には明きょを掘削するなど、速やかに排水できるようにしましょ。

(2) 事後対策

ア 畜舎等が浸水した場合は速やかに排水し、疾病発生予防のため洗浄と消毒を行った後、施設内の乾燥に努めましょ。

イ 滞水している草地や飼料畑は、明きょなどを点検し速やかに排水しましょ。

ウ 豪雨により草地や飼料畑で土壌浸食が発生した場合は、早めに修復しましょ。

エ 積雪があった地域では、積雪による畜舎等の倒壊を防止するため、積雪の状況に応じ畜舎軒下等の除雪を行います。

特に、ハウス式の畜舎や堆肥処理施設等の簡易施設は除雪作業をこまめに実施してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7339

(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください)

URL http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyuukaihatu/gi_jyutsufukyu/seikugi_jyutsu_jyohou.html

モバイル県庁：福島モバイル県庁→お知らせ・各種情報→農業技術情報

(右欄に掲載のQRコードよりご覧ください)

ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>



モバイル版 QRコード